

東京 札幌会 だより

Vol.52



札幌が、もっとはじまる。

ご挨拶

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスのパンデミックが始まってから3年目になろうとしています。私たちの日常生活に感染対策という文字が確実に刻み込まれ、同時にそれが当たり前のようになっているのを何ら不自然と感じなくなった現実を憂いながらも早期の終息を願わずにはありません。このような状況下ではありますが、皆様にかかれましては従前と変わらず「東京札幌会」に対しご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、今から50年前の1972年2月(3日から13日まで)に札幌市で冬季オリンピックが開催されました。その当時のことを覚えていらっしゃるでしょうか。アジアではじめての冬のオリンピックが札幌で行われたのです。

2月3日の真駒内屋外競技場での開会式には氷点下8度の中、5万4千人の大観衆が集まりました。競技が始まってからもスキージャンプ70m級の「日の丸飛行隊」による金・銀・銅のメダルの独占や「銀盤の妖精」といわれたフィギュアスケートのジャネット



東京札幌会
会長 秦豊昭

ト・リンの活躍などで日本中が沸きました。私にはその光景が半世紀たった今でも胸に浮かびます。

冬季オリンピックの開催に合わせるように前年(1971年)の12月に地下鉄南北線が北24条―真駒内間に開通しました。その地下鉄の「大通駅」を降りると本格的な地下街(オーロラタウン・ポールタウン)へと繋がります。市民はこぞ地下に流れ、新たな空間を作り上げました。市内を巡る幹線道路は整備・拡張され「まち」はさらに郊外へと広がっていきました。

1869年、北の大地に建設された開拓使の札幌本府から僅か一世紀の間に「ふるさと」は大都市へと変貌していったのです。「東京札幌会」はこの冬季札幌オリンピックの開催から4年後の1976年に創立されました。ようやく「札幌」の名が日本中では勿論ですが世界中に知れ渡った頃かと思えます。

「上京」という言葉が当たり前に使われ、北海道から首都圏・東京に出ることがそれは大変な事でしたが、今やネット社会、スマホ片手に「ふるさと」関連の情報はおろか世界中の情報が瞬時に見ることが出来る世の中です。

それでもただ一つ変わらないものがあります。

歌人、石川啄木の歌集『二握の砂』

「ふるさとの訛りなつかし 停車場の人ごみの中に そを聴きにけり」

という有名な歌があります。夢を追いかけるさと岩手を離れ、北海道へと渡りやがて東京へと移り住みます。ある時雑踏の中でふと耳にしたふるさとの言葉に郷愁を誘われた若者の姿がそこにありました。同じく歌集『悲しき玩具』では

「なつかしき 故郷にかえる思いあり 久し振りに汽車に乗りしに」と歌っています。何時の時代でも、どんなに遠く離れていてもふるさとを想う気持ちは変わりません。

そう思う今日の私たちは、東京駅から新幹線という汽車(のりもの)で直接故郷へ帰ることができるようになります。あと8年たつたら…。

2022年が皆さまにとって素晴らしい年でありますようにお祈り致します。

札幌冬季オリンピック50周年

昨年8月、東京2020オリンピック・パラリンピックの競歩・マラソンが札幌で開催され、30℃を超える暑さの中、熱戦が繰り広げられました。テレビ中継でアスリートの背景に映る数々の名所や街並みが懐かしく、世界中に故郷の様子が配信されたことに喜びを感じずにはられません。

この札幌開催が無事に行われたことで2030冬季オリンピック・パラリンピック札幌大会への招致にも大きなアピールができたのではないかと思います。

そして今年1972年冬季オリンピック札幌競技大会(第11回冬季オリンピック大会)から50周年の年。

72年札幌大会では日の丸飛行隊など日本人選手の活躍などが東京札幌会の会員の皆さんはもちろん、多くの人々に大きな感動をもたらした、同時に札幌の街が国際都市として大きく飛躍する契機となりました。

「虹と雪のバラード」の歌詞「街ができる 美しい街が」のように、大規模な都市化が進められ、競技場や関連施設が新しく建設されたほか、交通・通信設備や都市環境が整備されました。

札幌市は50周年を迎えるにあたり「札幌オリンピック50周年記念事業」として当時の感動と街の発展の歴史を振り返る様々な事業を開催し、市民・道民の皆さんのオリンピック・パラリンピックへの関心や大会への親しみ、理解を深め、より多くの市民、ひいては市外に向けてもオリンピックの街さっぽろを発信し、開催都市としてのレガシーを次世代につなげたいと願っています。



©札幌市公文書館所蔵

私たち東京札幌会も東京からふるさと札幌を応援していきたいと思っております。2030年の冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けて、当時を振り返る絶好の機会かもしれません。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

市長メッセージ



札幌市市長
秋元克広

東京札幌会の皆様には、日ごろから札幌市政の推進にご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認されてから、約2年が経過いたします。新型コロナウイルス感染症で影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

札幌市においても感染対策を最優先として取り組むとともに、社会経済活動との両立に努めてまいりました。引き続き3回目のワクチン接種も含めた感染対策に取り組み、社会経済活動の回復に向けた歩みを進めてまいります。

さて、昨年は、1年延期となった東京2020大会が開催され、札幌においても、サッカー、マラソン・競歩競技が行われました。コロナ禍における開催であり、大変厳しい状況ではありましたが、競技団体・企業・行政などが一丸となり、オール札幌で大会を成功に導くことができました。

今後は、こうした競技大会の開催実績や札幌が持つ都市基盤などを活かし、昨年末、大会概要案を発表しました2030年の冬季オリンピック・パラリンピックの招致を目指してまいります。

ます。この4年に一度のスポーツの祭典は、大会開催中の経済効果はもとより、開催に至るまでの一連の取組が現在の札幌が抱える課題解決のきっかけになると考えることから、実現に向け、市民や企業の皆様と対話を進めてまいります。

加えて、来年(2023年)日本で開催されるG7サミットの関係閣僚会合の誘致などの取組も積極的に進め、引き続き札幌として北海道の観光振興にも努めてまいります。

本年、札幌市は市制施行100年という節目の年を迎えます。気候変動や人口構造の変化といった課題が山積する中で、持続可能な形でこのまちを次の世代に引き継ぐため、本年を次の100年を見据えた礎を築く年にしたいと考えております。皆様におかれましては、札幌の応援団として変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京札幌会の皆様におかれましては、コロナ禍で様々な制限があるものと拝察しておりますが、引き続き「ふるさと札幌」への温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、東京札幌会の

益々のご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。私たちのメッセージとさせていただきます。



1972冬季オリンピック札幌競技大会から50周年 あの感動を再び味わうために一度は訪れたい！ 札幌オリンピックミュージアム

札幌市街を一望できる大倉山ジャンプ競技場の麓にあるミュージアム。1972年の貴重な資料をはじめ、歴代冬季オリンピックで活躍した選手の用具展示や各大会のメダル・写真を通して歴史を学ぶことができる施設です。

筆者も行ったことがあります。大画面で過去の名選手が多数登場するパノラマシアターもあり競技に臨む選手の緊張感が伝わってきます。そして子供も大人も楽しめるのが「体感・体験コーナー」。シミュレーターを使って、ジャンプの踏み切りやボブスレーの滑走、クロスカントリーの



https://sapporo-olympic-museum.jp

会員交流広場



ゆきさん
雪希さん

「哇！妳是從北海道來的喔！好棒的！地方！（わ！北海道から来たの？！素敵なところだね！）」

台湾に住んでいた頃、何度も言われた嬉しい言葉です。

私は北海道で生まれ育ち、台湾に約8年間居住、東京に来て5年になります。

小樽商科大学在学中から、ご縁あってS.T.V札幌テレビ放送の番組リポーターを担当してりました。

大きな契機となったのは、



番組からお休みをいただきたい台湾短期留学をしたことです。当時日本ではここ数年のような台湾人気はありませんでしたが、私はずっと台湾に魅了され、自らマイクとカメラを持ち「台湾グルメレポート」を撮影、番組内で放送していただきました。この経験から、「台湾の魅力は日本へ、日本の魅力を台湾へ伝えたい」という目標ができました。

一度帰国したのち、台湾へ移住。8年間芸能活動の



ほか、ライター業、通訳翻訳業に携わりました。また仕事の傍ら現地の大学院でメディア学を専攻しました。

2017年、東京のアナウンサー事務所所属をきっかけに帰国。3年前に独立し、現在はフリーランスで活動しています。「台湾祭」などのイベントMCや、「東京野菜DE台湾カフェ」(協力: J.A.東京)の主催、また十勝観光を台湾へPRする番組や、東京札幌会幹事の森

田茂才さんと企画した旅番組の中国語リポーターなど、日本と台湾を繋ぐイベントや番組を軸に活動中です。

コロナ収束後に向け、今後は大好きな札幌の魅力台湾の方々へ伝えていきたいと考えています。何か一緒にやりたい！と思ってくださいました方、ぜひお声がけください！(文中の敬称は省略させていただきます)



寺島伸一さん

■2つ以上のコミュニティ
コミュニティ(Community)とは、地域社会、共同体のことで、地域共同体を意味しますが、そこから転じて国際的な連帯(欧州共同体)やネット上の仲間などにも使用されます。

心理学では2つ以上のコミュニティに入るように勧めています。それは、人の精神安定には良いからです。コミュニティの1つは会社です。会社が1つのコミュニティになります。家庭と仕事の往復ですと精神安定を乱す一因になります。そこで、精神的クッションを置くためにもう一つコミュニティが必要になります。

学生時代は、クラブ活動、アルバイトなどで同年代前後の人たち、違う学校の年齢差のある人たちと共同体を作ることに、日常と違う空間に身を置くことで精神がリセットした状態になり精神が安定していきます。

会社などを引退してコミュニティが減ると余計に柔軟性がなくなった精神状態になります。そこで、日常とは違うコミュニティが

必要となります。

ですが、みなさんには郷土会の東京札幌会という素晴らしいコミュニティがあります。これは、本当に幸せなことです。

コロナ禍で人と対面での会合を行うことができませんが、いろいろな通信方法(電話、ZOOM、LINEなど)があります。東京札幌会でもリモートで会合を催しています。ちょっとコンピュータ、スマートフォンは苦手という人はリモート会合に参加する方に電話して近況だけでも話す参加方法もありますので、人と話す機会を設けてください。



SAPPORO



TOKYO

小野喜世彦さん

趣味は劇場映画鑑賞・スナックカラオケ・ゴルフ。コロナ禍では小金井公園散歩・花の写真撮影・FB投稿・証券市場参加・園芸作業等が主体となっています。



▶コウカ(紅華)の桜花@東京・小金井公園・桜の園 北海道・松前町で創出



▶カンザン・セキヤマ(関山)の桜花@東京・小金井公園・桜の園



▶ラベンダー・グロツソの花 @東京・小平市・鈴木町



▶ヒマワリの群生@東京・小金井公園・こどもの広場



▶ダブルレインボー@兵庫県 城崎温泉ロープウェイ

新入会員の紹介

●天内雅子さん

■私と札幌の街
東京札幌会の皆さま、はじめまして。天内雅子(あまないまさこ)と申します。

シンガー・ソングライター、ピアニストで、各地での演奏のほかに、各施設、アースデイなど環境・平和のイベントでの活動を通じ、音楽でみんながより幸せに生きられる世界になるよう日々活動しております。

私が初めて札幌の街に行ったのは18才の時です。当時好きだった人が札幌の学校に進学し、その人に会いたく気がつけば飛行機に乗っていました。

札幌の街に初めて降り立った時のことを今でもよく覚えています。広い場所を自由に駆け抜ける美しい空気、足をつけた時のどこまでも続くような大地の感覚。ここに住む方々はいつもこれを感じながら生きている。そうしたら一体どんな人生

になるのだろうか感慨深く思ったものです。

先日久しぶりに札幌に行き、時計台に向かって近くを歩いていた時に鐘が鳴って、夜の札幌の街を響きゆく鮮烈で清々しい鐘の音に心を奪われ、全身が感動に包まれてゆきました。

そして札幌の街の方々の温かさ。今まで知っているどの街とも何かが違うと感じました。自然を敬い、助け合いながら生きてきたであろう方々の数えきれない想いと歴史が今も息づき、肌から伝わってくるようにしました。



私の父は青森出身ですが、祖先はアイヌ民族だと伝え聞いていることもあり、アイヌの方々の考え方や文化にとっても興味を持っています。札幌の方々のあたたかさや美しい鐘の音に惹かれ、札幌の皆さんとも繋がりたて頂けたらどんなに素敵だろうと思いいました。

なかなか直接お会いする事が難しい日々が続きますが、いつか皆様とお会いできましたら嬉しいです。どうぞ、よろしくお願いたします。

●鐘本智美さん

なかなか皆さまにお目にかかれずにおりますが、コロナ禍にこっそり入会させて頂きました鐘本智美(かねもとともみ)と申します。生まれも育ちも札幌で、人生の大半を山鼻辺りで過ごしました。東京に移り住みちようど10年が経つタイミングに加え、コロナ禍で不自由な日々があったからこそ「札幌に関わる活動をしたい」と改めて強く思い、色々調べているうちにこちらを知りました。

元々フィンランド好きだった事もあり、同じタイミングで「北海道フィンランド協会」に再入会し、北海道とフィンランドに関する活動もしております。最近、巷で流行っている『サウナ』はフィンランド語なのはご存知でしょうか?今年、大使館とともに「フィンランドウィーク」というイベントを札幌にて開催予定です。コロナが落ち着けば、札幌で皆さまとその頃にお会いしたいですね。またサウナなども一緒にできたらいいなと考えながら、お会いできるのを楽しみにしております。

佐々木昭雄さん

余計な事を言ってしまった。物心がついた時から「一言も二言も多い」と言われてきたが、東京札幌会の監査が終了して軽い雑談となり、「今年2月で札幌オリンピックから50年ですよ」という話から「あっ私、開会式を見に行きましたよ」。翌日会長から原稿依頼のメールが届いた。

昭和47年、当時私は北陽中学の1年生で、教室に貼られた学級新聞に「笠谷幸生選手にインタビュー」という記事が掲載されていた。友人の編集長に「笠谷選手にインタビューしたんだ！凄いね！」と言ったら友人はニヤニヤしながら「会っ

てないよ、あれ適当に書いた」「!?」私は他言無用を通した。

そんなある日、祖父に呼ばれて「オリンピック見に行きたいか？」と言われて、映画青年だった私はさほどオリンピック観戦には興味なかったが、貰ったのが開会式と90メートル級ジャンプと閉会式のチケット。清々しい晴天だったけれど、とにかく寒い中「まあ、一生に一度経験出来るかどうかの事だから」と一人で会場に向かった。天皇陛下の寒さを堪えられた開会宣言。私の席の数十列位前から陛下が立ち上がられたので、「えっ、こんな近くにおられた！僕は天皇陛下と同じ空気を吸っている」という驚きと感動。陛下の独特なお声のイントネーション

「だいじゅう・いっ・か・い…」は、今でも鮮明に覚えていて、数十年後の北高同窓会での札幌オリンピッククイズ大会で、「第何回大会でしょう？」という問いに、真っ先に手を挙げ「第11回」と見事に答えられた。(ちなみに現役高校時代の授業で手を挙げて答えたことは一度もなかった)



©札幌市公文書館所蔵



©札幌市公文書館所蔵

た)その開会式で「太平洋戦争の記録映像を見た陛下とここに居られる陛下が同じ陛下なのか」と不思議な気持ちになったことも覚えていいます。

90メートル級ジャンプの帰りは、とにかく悔しくて、残念で、雪を踏む足先がやたらに冷たく感じたことです。そして教訓を得ました。「人生、期待しすぎちゃいけない」と「競技はテレビで見るのが一番だ」。

当時私の部屋は『バルジ大作戦』など映画のポスターだらけだったが、唯一ジャンネット・リンのポスターを貼っていた私は、閉会式ではオペラグラスでひたすらジャンネット・リンを追い見続けました。閉会式終了後叔母が一言「外国の閉会

式は選手も観客も一体となってもっと盛り上げるのに」。叔母の言葉をよそに、生リン様を拜めた私はそれだけで大満足でした。

この年から私は中学でブラスバンドに入部しました。とにかく練習、練習、目指すは厚生年金会館での全道大会です。課題曲、自由曲以外にも、「白銀の栄光」や「虹と雪のバラード」も演奏しました。休憩時間に余興でファンファーレとかも…。そのOBが中心で作ったサップロシンフォニックバンドは今でも演奏活動を積極的にやっていいます。高校同期会で最後にみんなが歌うのが「虹と雪のバラード」です。今でもこの2曲を聞くと、札幌が世界で一番住みやすい町だ！と思っていた自分が懐かしく、目頭が熱くなります。

オリンピックから十数年、ちよっとした恩返しができる様な気がしました。大倉か宮の森か今となっては定かではありませんが、ジャンプ台に照明設備の補助金をつけたことです。当時ジャンプ台の照明施設への補助金がなく、公園の照明設備にはあったので、ジャ

ンプ台の上に公園のようなものがあるという事で、つけたと記憶しています。まだまだおらかな良き時代でした。

道新が日本で一番大きい新聞社だと思っていた頃から約45年、東京五輪・パラリンピック大会組織委員会長に陳情でお目にかかった時に、「君はまだ札幌に帰っていないのか。そんな事やっているから髪の毛が白くなるんだ」。

余計な事を書いてしまいました。2030年北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会は、暖かい部屋のテレビでゆっくり観戦したいものです。感謝、感謝…



©札幌市公文書館所蔵

札幌市政100周年



今年2022年8月1日に札幌市は市政施行100周年を迎えます。これを記念して、札幌市の魅力を未来に繋ぐシンボルとなるキャッチフレーズとロゴマークを公募し決定しました。7月頃には式典を開催する予定です。

世界では今なお新型コロナウイルスが感染症の終束が見通せない中ですが、このキャッチフレーズとロゴマークとともに、札幌のまちなみを取り戻せるよう、記念すべき年を盛り上げていきます。

この機会に札幌100年の主なトピックスを振り返ってみましょう！

金曾裕一さん

■狸小路とMOZART

小生は戦前、札幌市ススキ野の南5条西2丁目生まれ、高校大学は釧路の家族から離れ北10条西3丁目の母方祖父の家から通学した。

1960年ころだった。

地元札幌北高の同級生の親が狸小路で食堂経営。時々遊びに行つてはカレーや丼物を腹いっぱい馳走になつていた。戦後15年の世の中は未だ国民の食糧事情がそれほど良くなかつた時代、友人が食べ物屋の同級生だったお陰で甘いもの等

シック音楽が聞こえてきた。そこが話題になつていて前年オープンしたばかりのクラシック名曲喫茶「ウイーン」だった。当時札幌にはクラシック専門の喫茶店は少なかった。



聞こえた曲は MOZART 交響曲40番第一楽章であった。誘われる

にも時々恵まれた。しかし北海道では牛肉や鰻などが市場に現れるのはかなり先になる。

食堂の友人の他に狸小路で食料品、製パン、茶店の息子達が数名居た。そんな縁で狸小路界隈での友人達との交流の思い出が多い。食べ物屋は勿論映画館やお祭りも多く狸小路は楽しいスポットだった。

ある日いつもの様に友人宅からの帰り道に普段はあまり歩かない西方面の狸小路7丁目の喫茶店からクラシック音楽が聞こえてきた。

様に地下の喫茶店に入り大型スピーカーの上質な音でほど良い臨場感を味わった。音量は一般のBGMよりは音をしっかりと出していた。会話や商談の為の喫茶店ではなくクラシックを聴きた人の為の喫茶店だ。

この曲は MOZART 交響曲47曲中の珍しい2曲だけの短調曲の一つである。憂を帯びた短調のテーマ旋律に特徴のある美しい交響曲である。

後日狸小路4丁目のヤマハ楽器で当該曲の楽譜本を購入しそれを持って再度ウイーンに行きリクエストで40番を再聴させてもらった。オーケストラの演奏楽器別の楽譜パートを目で追つて聞くのも楽しいものだ。その後もう月に数回はウイーンで今で言う癒しの時間を過ごさせてもらった。

しかし5年前の2017年末に閉店となつたと聞いた。衷心より感謝申し上げたい。50数年の歴史の幕を閉じたウイーンを懐かしむ札幌人は多いのではないか。



1922年(大正11年)	市制施行
1927年(昭和2年)	市電営業開始
1929年(昭和4年)	中島公園にプール設置
1930年(昭和5年)	市営バス事業開始
1931年(昭和6年)	大倉山ジャンプ競技場(現・大倉山ジャンプ競技場)しゅんぐり
1937年(昭和12年)	市役所庁舎落成。市営上水道営業開始。
1946年(昭和21年)	札幌商工会議所設立
1947年(昭和22年)	地方自治法施行、初の公選市長に高田富與就任
1948年(昭和23年)	札幌市警察・消防本部を設置。市立保健所発足
1950年(昭和25年)	第1回札幌雪まつり開催
1951年(昭和26年)	円山動物園開園
1956年(昭和33年)	札幌テレビ塔完成。藻岩山ロープウェイ営業開始
1960年(昭和35年)	仲よし子ども館開設。市民の投票により札幌の花(スズラン)、木(ライラック)、鳥(カッコウ)が決定
1963年(昭和38年)	市民憲章制定
1964年(昭和39年)	市民の歌、市旗制定
1970年(昭和45年)	市の人口100万人突破
1971年(昭和46年)	札幌の地下鉄が誕生(当時は南北線のみ開通)。現在の市役所本庁舎、札幌地下街完成
1972年(昭和47年)	札幌で第11回冬季オリンピック大会開催。政令指定都市へ移行し、7区役所開設
1981年(昭和56年)	青少年科学館開館
1986年(昭和61年)	札幌で第1回アジア冬季競技大会開催
1989年(平成元年)	白石、西区の分区により、厚別、手稲区が誕生して9区体制へ移行
1990年(平成2年)	第1回PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)開催
1996年(平成8年)	JFL「コンサドーレ札幌」誕生
1997年(平成9年)	豊平区の分区により、清田区が誕生して10区体制へ移行。札幌コンサートホール(Kitarara)オープン
2001年(平成13年)	札幌ドームがオープンし、翌年には2002年FIFAワールドカップ札幌開催
2003年(平成15年)	札幌市アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」オープン
2004年(平成16年)	プロ野球「北海道日本ハムファイターズ」誕生
2011年(平成23年)	札幌駅前地下歩行空間開通
2014年(平成26年)	札幌国際芸術祭2014開催
2019年(令和元年)	ラグビーワールドカップ2019TMが札幌ドームで開催

イベント報告

イベント報告①

納涼リモート飲み会2021

リモート飲み会が8月14日(土)に開催されました。



コロナ禍のおり、出来ることを模索しての開催となりました。秦会長の「新年のつどい」以来、逢えない会員の方々、そして今回は幹事の富田さんご紹介の新しい方もいらっしやいました。

東京2020オリンピック・パラリンピック札幌開催のマラソンの現地報告などもあり、サラリーマン落語家・若木元翁さんは立川談志の物まねでサングラスにバンダナで登場！小話や都々逸なども聞けて楽しい時間を過ごさせていただきました。

イベント報告②

第92回都市対抗野球大会「北海道ガス応援観戦」



一塁側に陣取った北海道ガス応援団は優に千名は超えていたでしょうか、コロナ感染予防対策のため間隔を空けての観戦。当会からは5名の参加でした。札幌市東京事務所からも里所長はじめ10数名が駆け付け、大声は出せませんが拍手などの熱い応援は選手に伝わった筈です。

中盤までは互角の戦いの結果、1-10で敗退。とはいえ初出場のチーム、来年こそはと期待しながらドームを後にしました。

(秦豊昭 記)

緊急事態宣言が解除された11月5日付の応援観戦案内が「北海道ガス硬式野球部後援会」より当会宛てに届きました。16日に開催した常任幹事会でこれを会のイベントと位置づけ、早速、会員に案内をメール発信。(HPにも載せました)

新型コロナウイルスの感染者が減少とは言え収束に至っていない状況の中での開催です。事前観戦希望者は多くはありませんでした。東京ドームにて11月29日(月)午前10時から試合開始。相手は東京代表のセガサミです。



表紙の写真



撮影者プロフィール
野原肇

1982年北海道札幌市生まれ札幌在住の広告写真家。

2009年、5年間勤めた店舗什器メーカーの営業職を辞め、写真の道に。同年、SupernovaStudioに所属し、広告写真の撮影業務に携わる。2018年独立し、広告写真の個人事務所を立ち上げ現在に至る。

企業広告案件、ホテルや飲食店の料理写真、タレント・モデル等の人物写真、CDジャケットや商品パッケージ用写真、プロダクトの静物写真、建築写真、ライブやドキュメント写真など、北海道での広告写真の撮影対象は幅広く、その全てを活動フィールドとしている。

www.hajimenochara.jp

今回の表紙写真は、「札幌を想い、東京を想うとき。景色の一部を切り取った写真の中で、どちらの街にも共通してあるものは何か？ また、その写真が一目で札幌と分かるなら、その札幌らしさとは何か。見た人は写真の中に札幌らしさを見つけて感じてもらう事ができるだろうか。そんな事を考えながら、過去撮影した写真の中からセレクトした数枚のうち一枚。」

会長が秋元市長を訪問



2021年10月21日(木)札幌市市役所に秋元市長を訪ねました。新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあるとは言え公務ご多忙の中、快く迎えていただきました。コロナ対応は無論の事、8月に開催された東京2020オリンピック・パラリンピックのサッカー予選をはじめ競歩・マラソンの

この後町田副市長を訪問お二人とも今後とも「東京札幌会」への応援と協力は惜しまない事、更にはコロナが終息したなら魅力溢れるふるさとへの帰札をお願



いされ、励ます予定が逆に励まされた一日となりました。尚、今回は諏佐議事事務局長(前東京事務所長)の多大なるご配慮により表敬訪問ができました。厚く御礼申し上げます。

法人会員紹介(入会順)

- 社会福祉法人水の会
<http://www.mizunokai.ed.jp>
- 株式会社 マッオ
<https://corp.matsuoi1956.jp/company/>
- 株式会社 土屋ホーム
<https://www.tsuchiyahome.jp>
- 丸水札幌中央水産 株式会社
<http://www.marusui-net.co.jp>
- 大丸株式会社
<http://www.daimaru-inc.com>
- 株式会社 ルーセントスクエア
http://www.lucent-square.co.jp/?page_id=2195
- カネシメホールディングス 株式会社
<http://www.kaneshime.co.jp>
- 大和ハウス工業 株式会社
<https://www.daiwahouse.com/about/>
- 総合商研 株式会社
<http://www.shouken.co.jp>

- 株式会社 HDC
<https://hdweb.iliac.co.jp>
- 日本郵便 株式会社 北海道支社
<https://www.post.japanpost.jp/life/minamori/>
- 株式会社 アドヴァンスト・ソフト・エンジニアリング
<https://www.ase.co.jp>
- 株式会社 AIRDO
<https://www.airdo.jp>
- SATO 社会保険労務士法人
<https://www.sato-group-ri.jp/>
- 札幌みらい中央青果 株式会社
<https://www.sapporomirai.jp>
- 株式会社 日本互助会
<https://www.gojyokai.co.jp/>
- 株式会社 味香り戦略研究所
<https://www.mikaku.jp>
- 株式会社 石川物産館
<https://www.ki-b.jp/>

札幌イベント紹介 モエレ沼芸術花火



© モエレ沼芸術花火

世界的な彫刻家、故イサム・ノグチがランドデザインを手がけたモエレ沼公園。この場所で、毎年9月の第一土曜日に開催されているのが「モエレ沼芸術花火」です。国内最高峰の内閣総理大臣賞受賞花火師達の芸術玉を中心に構成されている花火大会シリーズの一つで2012年に産声を上げました。「市民力」を結集するお祭りを目指し、毎年、有志市民や学生ボランティアを中心に500名を超えるスタッフにて観客をもてなしています。

「モエレ沼芸術花火」は、北海道最大級!音楽とシンクロする「Great Sky Art」と称され、全編を通して音楽のリズムや曲調に合わせて打上がり、従来の花火大会とは違う新しい感動を与えてくれます。

その感動の秘密は、花火の滞空時間、残存光を計算に入れ、1/30秒単位で音楽のリズム・メロディー・楽器・歌詞・ボーカルに合わせて緻密にプログラムされていること。また広大なモエレ沼公園の奥行きや、「大地の彫刻」ともいわれる起伏を生かした表現は、他の花火大会では見られない立体的な3D演出となっています。

また、その他に大迫力の尺玉なども見どころの一つとなっています。直径約30cm(1尺)の花火玉が170mの上空で直径320mに開き、何重にも塗り重ねられた火薬によって、花開いている6.5秒の間に、多いものでは6回もの色の変化をみせてくれます。その様は、まさに芸術玉です。

モエレ沼公園の特性を活かした日本の伝統芸術・花火の新しい表現を提案する「モエレ沼芸術花火」は「札幌オータムフェスト」のような札幌の秋の風物詩となるでしょう。興味のある方はぜひチケットを手にとってください!!

開催日

2022年9月(予定)
<https://www.moere.jp>

札幌市東京事務所より

札幌市東京事務所所長 里 忠克

東京札幌会の皆様、大変お世話になっております。東京事務所所長の里です。日頃より故郷札幌を東京の地から力強く応援いただき、心より感謝申し上げます。本年度新たに東京事務所に着任した6名の職員から挨拶させていただきます。



(前列左から) 高安香織さん、菊地友美恵さん、菊田昭子担当課長、里忠克所長、柄澤晃人副所長、角谷俊太郎担当課長、三井恵里さん、土井麻由子さん
(後列左から) 岡頭一さん、中岡真吾さん、吉田翔太郎さん、佐藤史弥さん、館山慶祐さん、加藤正純さん、遠藤和志さん、佐々木直人さん

連絡担当係長 菊地 友美恵

東京札幌会の皆様、いつもお世話になっております。昨年4月に着任しました、菊地と申します。地元札幌との連絡調整や事務所内庶務等を担当しております。札幌生まれ札幌育ちで、今回初めて札幌市外に居住及び勤務することとなりました。

上京後半月で緊急事態宣言が再度発令され、長く自粛生活が続きましたが、秋の宣言解除後、徐々に東京事務所ならではの業務・経験ができるようになってまいりました。コロナ状況は引き続き予断を許しませんが、徐々に平時に戻っていくこと、皆様と活動を共にできるようになることを願っております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

シテイセールス担当係長 岡 顕一

東京札幌会の皆様、いつも大変お世話になっております。シテイセールス担当の岡と申します。観光PRのほか、東京札幌会の事務局を担当させていただいております。

オリンピック後の1973年札幌生まれで、札幌がどんどん大きくなるのを肌を感じながら育ちました。落語が好きで、コロナが落ち着きましたら寄席ライブを満喫したいと思っています。

東京での仕事も1年が経ちましたが、札幌・北海道のブランド力の強さを改めて実感しております。各種イベントなどを通じて、首都圏のさっぽろファンを増やしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

シテイセールス担当係長 佐藤 史弥

東京札幌会の皆様、こんにちは。昨年4月に着任しました佐藤と申します。

企業誘致業務を担当しており、日々、様々な企業と面談を行っていますが、コロナ禍で人々の働き方や意識が変わってきていることを実感しております。

リモートワークの定着により、働く場所が東京である必要がなくなってきたという現在の状況は、地方にとって大きな転換点といえるかも知れません。

札幌をビジネス拠点として選択してもらえよう、積極的に誘致活動を行ってまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

シテイセールス担当係長 三井 恵里

東京札幌会の皆様、日頃からお世話になっております。昨年4月にシテイセールス担当係長として着任し、企業誘致を担当しております。着任してからはしばらくの間は在宅勤務が多く、想像していた東京勤務とは違ったものとなっておりますが、徐々に通常の体制に戻り、東京ライブを満喫できるようになってきました。

沢山の人と情報が飛び交う東京での出会いを大切に、札幌の発展に繋げていきたいと考えています。皆様にお会いできる日を楽しみにしております。どうぞ宜しくお願いいたします。

渉外担当係長 吉田 翔太郎

東京札幌会の皆様、いつもお世話になっております。2030冬季オリパラ招致担当の吉田と申します。

史上初の延期となった東京2020大会、さまざまな意見はあるかと思いますが、終わってみれば、新聞社の調査によると、64%の方が開催して良かったと回答したとのこと。本市としては、そのように思わなかった方々のご意見にもしっかりと耳を傾け、オリパラ招致に取り組んでいくことが大切であると改めて思いました。

さて、オリパラ招致実現には、いかに首都圏での機運を高められるかも大切だと思いますので、皆様のお力もお借りしながら進めて行ければと思っております。ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

事務職員 館山 慶祐

東京札幌会の皆様、いつも大変お世話になっております。昨年10月に着任いたしました館山と申します。業務は主に、2030年札幌冬季オリンピック・パラリンピックの招致実現に向けた首都圏での渉外活動を担当しております。

生まれも育ちも北海道の「純どさんこ」であり、コロナ禍による行動制限をすり抜けての初上京ではございましたが、徐々に感染状況も落ち着き、思い描いていた東京らしさを感じつつあります。

時勢柄、東京札幌会の皆様と中々お会いできる機会がなく残念に思いますが、これから皆様方と一緒に「東京」から「札幌」を盛り上げ、オリパラ招致の取り組みに繋げていければと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

2018



秋だYO! 食べ羊!
北海道収穫祭!



北海道日本ハムファイターズ
応援ツアー



納涼会



写真で振り返る
東京札幌会のイベント
コロナ禍でイベントが開催できて
いませんが過去のイベントの
様子を振り返ります!

2019



2019年新春のつどい



花見ジンギスカン



納涼会



松尾ジンギスカン2

吉祥寺で楽しむ
落語ツアー



コロナがおさまり、
また皆さんとお会いできますように……。

2020



2020年新春のつどい



東京札幌会ホームページ <http://www.tokyosapporokai.com/>

ホームページでは、イベントのご案内や開催報告を随時、行っています。QRコードを読み込むとすぐにスマホで見られますよ。スマホに登録し、日々、閲覧しましょう！

【お願い】札幌会にご登録のパソコンや携帯のメールアドレス宛にイベントのご案内をお届けいたします。まだご登録いただいていない方は、この機会にご登録をお願いいたします!!



2022年中のイベントは
検討中につき、決まり次第
お知らせする予定です。

東京札幌会幹事の紹介



大江 浩人(おおえ・ひろと)



岩浪 久美(いわなみ・くみ)

【幹事】(五十音順)



山中 茂樹(やまなか・しげき)



宮永 明子(みやなが・あきこ)



坂東 一将(ばんどう・かずまさ)



奥園 恵美子(おくぞの・えみこ)

【常任幹事】(五十音順)



幹事長
道見 由貴(どうみ・ゆき)



副会長
松代 洋子(まつしろ・ようこ)



会長
秦 豊昭(はた・とよあき)



佐々木 昭雄(ささき・あきお)



金曾 裕一(かねそ・ゆういち)

【監事】



渡辺 克己(わたなべ・かつみ)



山根 早苗(やまね・さなえ)



森田 茂才(もりた・しげとし)



福崎 芳枝(ふくざき・よしえ)



秦 美代(はた・みよ)



富田 信二(とみた・しんじ)



道免 順(どうめん・じゅん)



清水 宜之(しみず・のりゆき)



数納 壽(かずのう・ひさし)

編集後記

今年は1972年冬季オリンピック札幌競技大会から50周年の年。今号では当時を振り返る寄稿なども頂きありがとうございました。

1973年生まれの私は物心がついた頃には、生家の近くにある美香保屋内スケートリンク(現美香保体育館)に通い、フィギュアスケートを楽しむ札幌っ子でした。スケートリンク内に掲示されたジャネット・リン選手の写真パネルなどから予選会場として使用されたことを知り、自分がオリンピックの街に生まれたことを幼いながら誇りに感じていたことを思い出します。あれから時が経ち、札幌市は2030年の大会招致を目指しています。

次の2030年を機にどんな「まちづくり」が待っているのでしょうか?!北海道新幹線の一番列車に乗り、津軽海峡を越えた身としては、新函館北斗駅からその先の札幌へ繋がるのが楽しみで仕方ありません。人の流れや旅のスタイルも変わり、街の活気もどのようになっていくのでしょうか?札幌市が"100年後も、誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくり"を進めるため私達、東京札幌会は東京からエールを送りたいと思います。

最後になりましたが、会報制作にあたり掲載等ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。収束のめどが立たないコロナですが、どうか皆様、ご健勝でお過ごしになり一日も早くイベント開催・ご参集できる日が来ることを祈念し、編集後記とさせていただきます。(宮永明子 / 広報担当幹事)

東京札幌会について

東京札幌会は札幌を愛する方々の集まりです!それと同時に“ふるさとをもっと元気に!”と願う在京の札幌応援団です。これからも楽しい交流の場を作ると共にふるさと札幌の発展のために力を尽くして参ります。どうぞ引き続き、お力添えのほど、よろしく願いたします。

〈東京札幌会事務局〉

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号
東京交通会館3階 札幌市東京事務所内
TEL.03-3216-5090 FAX.03-3216-5199

〈発行責任者〉

東京札幌会会長 秦 豊昭